

東邦大学健康科学ジャーナル投稿規定

【編集方針】

健康科学部の教育の向上と研究推進を目的とし、健康科学分野における教育・研究成果の報告の場とする。

1. 投稿の資格者と投稿条件

- 1) 投稿の資格者は、東邦大学の専任教員または健康科学部の非常勤講師あるいは健康科学部教員の共同研究者とする。共同研究者が筆頭の場合は、共著者に必ず健康科学部専任教員が含まれるものとする。ただし健康科学部健康科学ジャーナル編集会（以下、編集会）が依頼あるいは認めた場合はその限りではない。
- 2) 投稿する論文は、健康科学分野の教育・研究に寄与しうるものであり、他誌にすでに発表あるいは投稿されていないもの、投稿中でないものとする。なお、二重投稿が明らかになった場合は、当該論文を不採用あるいは削除処分とし、該当する会誌の編集会に通知する。

2. 投稿論文

1) 論文の種類と内容

(1) 総説

健康科学に関わる特定のテーマについて、広い知見を拠り所とし学問的に概説された論文。編集会が依頼する。

16,000字以内、キーワード5個、引用文献50以内

(2) 原著

健康科学の知識の発展に貢献する独創性に富む論文で、明確かつ十分な新たな知見をみとめる論文。

16,000字以内、キーワード5個、引用文献30程度

抄録：和文400字、英文200words

(3) 報告

健康科学の発展において、教育現場や臨床、地域社会などに示唆をもたらし、資料としての価値がある論文。例えば、症例報告、(教育)実践報告、活動紹介などをさす。情報が限定されている、または少ないなどの理由で原著論文の基準を十分に満たしていないが学術的には価値がある論文。

16,000字以内、キーワード5個、引用文献30以内

抄録：和文400字、英文200 words

(4) 研究紹介

自らの研究、または関わった研究を題材とした、完結で短い総説。
3,000字、キーワード3個、引用文献5程度、図や表は3個以内

(5) 学会レポート

参加した学会の様子やトピックなどを報告するノート。
2,000字、写真、図・表は3個以内、キーワードや引用文献はなし

2) 論文の構成

(1) 表題Title: 論文の内容を明確に示す。必要であれば副題をつける。

(2) 著者Authors: authorshipに該当する者のみを著者とする。

(3) 抄録Abstract: 論文の内容を簡潔に説明する。

(4) キーワードKeywords: 論文の重要なテーマを表す専門用語などを示す。
1 keyword、1 conceptを原則とする。

(5) 序文Introduction: 研究の背景、研究を行う理由や仮説を説明し、目的を明確に示す。

(6) 方法Materials & methods: 結果を得るためのデータ収集の方法や実験の方法を説明する。読み手がデータ収集や実験を再現できるよう詳細を明確に示す。

(7) 結果Results: 調査により明らかとなった結果・成果・所見について、データに基づき具体的に示す。

(8) 考察Discussion: 研究結果の意味・意義を検討し、論理的に結論を導き示す。研究が健康科学の進歩にどのように寄与するのか、未解決の問題や今後の課題・展望などについて示す。

(9) 結論conclusion: 研究目的が達成されたか否かの評価を、1パラグラフ程度で簡潔に示す。

(10) 利益相反Conflict of interest: 利益相反がある場合、内容や対応について明記する。研究費の支援を受けた場合はここに記す。

(11) 文献References: 論文を執筆するにあたり、研究に関する情報および常識以上の知識については引用として示す。

- (12) 補足資料Supplementary material：生データの表、動画、写真などをさす。論文にとってそのデータが有用と考えられる場合は添付できる。

■ Authorshipについての規程

ICMJE: International Committee of Medical Journal Editorsが発表している基準

- Substantial contributions to the conception or design of the work; or the acquisition, analysis, or interpretation of data for the work; AND
- Drafting the work or revising it critically for important intellectual content; AND
- Final approval of the version to be published; AND
- Agreement to be accountable for all aspects of the work in ensuring that questions related to the accuracy or integrity of any part of the work are appropriately investigated and resolved.

以上に基づき、本ジャーナルでは「研究の構想およびデザイン、データ収集・分析および解釈に寄与し、論文の作成に関与し、最終原稿を確認した者」を「著者」とする。

3) 原稿作成書式

(1) 基本的な書式

①ページ設定

横書き

用紙サイズ A4 たて

余白 (右図参照)

上25mm 下20mm

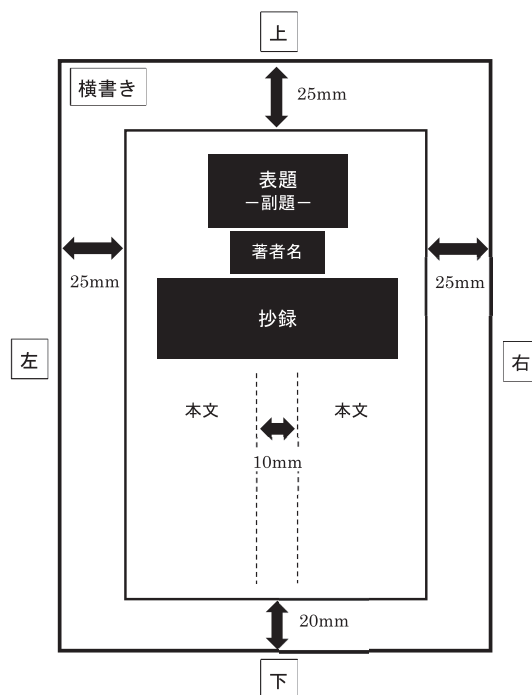
左25mm 右25mm

段組

- 表題部 (表題、著者名)
1 段組
- 抄録部 (和文、英文)
1 段組
- 論文部 (論文、引用文献リスト)
2 段組
- 行数
40行
- 文字数
1 段組：1 行40字
2 段組：1 行20字

②原稿の印刷

本文、表、図、写真などは黒色で印刷されていること。



(2) 原稿作成の詳細

原稿は、原則としてMS-Wordのファイル形式にて作成する。

①表題部

a) 表題

文字：フォント=MS明朝（英数字はCentury）

太さ=太字

大きさ=14ポイント

配置：中央揃え（センタリング）、2行以上にわたるときの2行目以下も中央揃えとする。

表題は1行30文字以内が望ましく、それを超える場合は改行する。

b) 副題（サブタイトル）

文字：フォント=MS明朝（英数字はCentury）

太さ=普通（または標準）

大きさ=12ポイント

配置：論題との間に1行空白行を設ける。空白行の高さは9ポイントとする（以下の空白行もすべて同様）。

中央揃え（センタリング）、2行以上にわたるときの2行目以下も中央揃えとする。

副題には、前後に—〇〇—（ダッシュ）を付す。

c) 著者名

文字：フォント=MS明朝（英数字はCentury）

太さ=普通（または標準）

大きさ=12ポイント

配置：表題(副題がある場合は副題)から、2行空白行を設けた後の行から記述する。

著者が複数いる場合は2文字分の空白をあける。

中央揃え（センタリング）、2行以上にわたるときの2行目以下も中央揃えとする。著者名の姓と名の間は1文字分の空白を置く。

著者4人までは1行に記載し、これを超えるときは、次の行に記載する。

以下、著者の増加には同じ方法で対応する。

著者が複数かつ所属が異なる場合は、代表著者から昇順に末尾右肩に番号を付す。なお、「d) 著者の所属」の項も併せて参照すること。

d) 著者の所属

文字：フォント=MS明朝（英数字はCentury）

太さ=普通（または標準）

大きさ=8ポイント

配置：1ページ目の最後の行の次に罫線を引きその次の行から記述する。最初の行は、代表著者の所属、著者が複数おり、その所属が異なる場合は、代表著者から 先頭に番号を付して、順に異なる所属を1行ずつ記述する。

その他：所属名は正式名称を記載する。

②抄録部

- a) 和文抄録は、著者名の最後の行から2行空白行をおいてから記述する。
 ・英文抄録は、本文最後の行から3行空白をおいてから、表題、副題、著者名、著者の所属（詳細は和文に準ずる）、抄録本文、キーワードの順に記述する。
 文字：フォント＝MS明朝（英数字はCentury）
 太さ＝普通（または標準）
 大きさ＝9ポイント
 配置：1行40文字、10行
 中央に配置
 インデントは3文字分、字下げは1文字分設けるのが望ましい。
- b) キーワードは、抄録の最後の行から1行空白行を置き、5語以内で記述する。
 「キーワード」で始まり、スペースで区切る。

③論文部

論文部は、抄録の最後の行から2行空白行を置いてから記述する。

- a) 章に相当する表題（以下、章題）および章番号
 文字：フォント＝ゴシック
 太さ＝太字
 大きさ＝10.5ポイント
 配置：章題および章番号の上は空白行を1行設ける。
 左詰め
- b) 章中の小項目の表題（以下、項目題）および項目番号
 文字：フォント＝MS明朝（英数字はCentury）
 太さ＝普通（または標準）
 大きさ＝10.5ポイント
 配置：前行が章題（章番号）でない場合、上に空白行を1行設ける。
 前行が章題（章番号）の場合は、空白行を設けない。
 左詰め
- c) 本文
 常用漢字、新仮名づかいを用いて作成する。カタカナは必ず全角とする。
 論文中の句読点の表記は、「、」（テン全角）および「。」（マル全角）を使用する。
 可能であれば、禁則処理をすること。
 文字：フォント＝MS明朝（英数字はCentury）
 太さ＝普通（または標準）
 大きさ＝10.5ポイント
 配置：1行20字、40行
 章題（項目題がある場合は項目題）または章番号（項目番号がある場合は項目番号）の次の行からはじめる。
 左詰め

④ 使用記号および引用文献

文字：フォント=MS明朝（英数字はCentury）

太さ＝普通（または標準）

大きさ＝10.5ポイント

表記：使用記号の表記は各分野の慣行に従う。

引用文献の表記は「(5) 引用文献の記載について」を参照する。

配置：2段組

(3) 図および写真の掲載

①図および写真の作成

図および写真については、著者が論文中に作成したものをそのまま使用する。

また、A4判1枚につき400字として換算し、A4判を超過する場合は、1つの図表が最大A4判2枚（800字換算）までとする。

②図および写真の番号、説明など

図や写真のタイトルは、原則として番号を図または写真の下に記入する。

図および写真の番号は10.5ポイント、説明などの文字の大きさは、9ポイントを原則とする。

特に必要がない限り、一連のアラビア数字を用いた続き番号とする。

図の番号、タイトル、凡例解説、説明文は一読することで、内容が明らかとなる表記とし、次の例を標準とする。

図1 東邦大学の現状

Fig. 1 紀要における図の書き方

Fig. 1 Thermal stability of …….

③表について

表のタイトルは表の上端左詰め、凡例解説等は下端左詰めに記す。

タイトルの文字の大きさは10.5ポイントを原則とする。

表の番号は特に必要がない限り、一連の数字とする。

(例) Table 2 Percentage of Japanese blood type

blood type			%
Type A	Rh (+)		39.8
Type O			29.9
Type B			19.9
Type AB	Rh (-)		9.9
Type A			0.2
Type O			0.1
Type B			0.15
Type AB			0.05

(4) 付録について

必要に応じて「付録」を本文末尾に添付できる。A4判1枚あたり400字換算とし、4枚までとする。

(5) 引用文献の記載について

引用文献の巻末の記載は、基本的にAPA論文作成マニュアルに準ずる。

①引用文献について、本文最後に一括して文献リストを作成する。

②文献リストの記載方法

下記のように文献を記載し、本文最後にリスト作成する。

掲載は、筆頭著者のアルファベット順に並べる。

a) 雑誌論文の場合

著者名（発行年次）：論文の表題. 雑誌名, 巻, 号, 論文掲載ページ数.

例) Binda, F., Marelli, F., Galazzi, A., Pascuzzo, R., ... Laquintana, D. (2021) :
Nursing Management of Prone Positioning in Patients With COVID-19.
Critical care nurse, 41 (2), 27-35

門脇緑 (2016) : がん患者とのEnd-of-life discussionsの概念分析. 日本看護科学会誌, 36巻, 263-272.

b) 単行書の場合

著者名（発行年次）：本の表題. 発行所.

例) 宮坂道夫 (2016) : 医療倫理学の方法 第3版 : 原則・ナラティブ・手順.
医学書院.

c) 翻訳書の場合

原著者名（原書の発行年次/翻訳書発行年次）. 翻訳者名（訳）, 邦題. 発行所.

例) Florence Nightingale. (1859/2016). 湯楨ます, 薄井担子, 小玉香津子,
田村眞, 小南吉彦 (訳), 看護覚え書—看護であること看護でないこと—
(改訳第7版), 現代社.

d) オンライン出典の場合

通常の書誌情報に続けてURLを記載する。

URLの一部と混同する恐れがあるので、URLのあとにピリオドはつけない。

例) 酒巻妙子, 土屋尚義, 村越康一. (1978). 在宅人工腎臓透析患者の食事について. 四大学看護学研究会雑誌, 1 (2), 3-13. http://27.50.112.176/test/search/docs/l05_pdf.pdf

e) オンラインでDigital Object identifier DOI（インターネット上の出典を特定する）のある場合

書誌情報に続けてDOI番号を記す。

例) 内布敦子. (2011). 巻頭言 日本看護科学学会の将来構想について考える機会に恵まれて. 日本看護科学会誌, 31 (1), 1. doi.org/10.5630/jans.31.1_1

f) インターネット情報

ホームページの執筆者名(年月日)、タイトル、サイトのURL (http://www.)より逐次的な更新が前提となっているコンテンツを引用する場合には、検索日を記載する。

3. 倫理的配慮

人および動物を対象とした研究は、倫理的な配慮がなされており、その旨が文中に記載されていること。また、承認を得た倫理審査委員会名と承認番号を記載すること。

4. 利益相反に関する事項の開示

利益相反の項に、当該研究の遂行や論文作成における利益相反の有無を記載する。利益相反となるような経済的支援を受けた場合は、その旨を明記する。利益相反状態が存在しない場合は、「本研究における利益相反は存在しない」と記載する。

なお、投稿時に健康科学ジャーナル利益相反(COI)報告書(様式1)を添付すること。

5. 投稿の手続き

- 1) 投稿を予定している場合は毎年8月末日までに、編集会宛に①論文の種類、②題目(仮)、③筆頭著者名(共著者名)をメールにて送付する。
- 2) 投稿原稿の提出は、原則としてオンライン提出とする。編集会から通知されたクラウドフォルダにアクセスして提出する。提出するデータには、同じく編集会から通知された受付番号(〇〇-〇〇)をファイル名に記載する。
- 3) 投稿前に投稿原稿チェックリスト(様式2)を用いて、投稿原稿を確認する。投稿原稿チェックリストは投稿原稿とともに提出する。
- 4) 投稿原稿の表紙(様式3)には、①希望する論文の種類、②表題(和文と英文表記)、③キーワード、④共著者を含む著者名(日本語とローマ字表記)、⑤所属機関(日本語と英語表記)、⑦連絡者氏名、⑧連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)を記入する。
- 5) 投稿原稿は、正原稿と、所属、著者名、受審した倫理審査委員会名と承認番号、謝辞など著者が特定できる情報を削除した副原稿をそれぞれPDFファイルで提出する。
- 6) 査読後の修正原稿は、修正した正原稿と副原稿をそれぞれPDFファイルで提出する。

6. 投稿原稿の受付及び採否の決定

- 1) 投稿原稿の締め切りは毎年9月末日（必着）とし、原稿の到着日を受付日とする。
- 2) 投稿原稿（原著・報告）は、査読を受ける。
- 3) 投稿原稿の採否の決定は、査読後に健康科学ジャーナル編集会が決定する。
- 4) 健康科学ジャーナル編集会の判定により、原稿の修正および論文の種類の変更を著者に求めることがある。
- 5) 審査の結果は投稿者に通知する。
- 6) 採択された場合、完成原稿（.docあるいは.docx）を編集会の指定するクラウドフォルダに提出する。
- 7) 投稿原稿を取り下げる場合は、理由とともに編集会に願い出る。

7. 著者校正

著者校正は1回とし、誤字脱字等の修正のみとする。
校正の際の大幅な加筆、修正は認めない。

8. 著者が負担すべき費用

- 1) 掲載料は原則として無料とする。
- 2) ただし、図表など印刷上特別な費用を必要とする場合は、実費負担とする。

9. 著作権

掲載論文の著作権は東邦大学健康科学部に帰属する。著作権譲渡同意書（様式4）に著者全員が自筆署名し、最終原稿提出時に原稿とともに提出すること。提出後は本学部の承諾なしに他誌に掲載することを禁ずる。

付則

平成29年9月6日 施行
令和元年11月13日 改定
令和6年4月4日 改定
令和7年3月21日 改定

投稿原稿チェックリスト

東邦大学健康科学ジャーナル編集会

＊投稿する前に原稿を点検確認し、原稿に添付して提出してください。下記項目に従っていない場合は、投稿を受領しないことがあります。

- ☐ 1. 投稿原稿は、他の出版物にすでに発表、あるいは投稿されていない。
- ☐ 2. 著者はすべて東邦大学専任教員あるいは健康科学部の非常勤講師、健康科学部専任教員の共同研究者である。
- ☐ 3. 希望する原稿の種類と原稿枚数の規定の範囲内である。
- ☐ 4. 原稿はワードプロセッサで作成され、A4 判横書きで、原稿の書式に則り、句読点は「、」（テン全角）または「。」（マル全角）で統一されている。
- ☐ 5. 本文中にページ番号をつけている。
- ☐ 6. 人および動物が対象である研究は倫理的に配慮され、その内容が記載されている。
- ☐ 7. 文献の種類による記載方法は投稿規程に従っている。
- ☐ 8. 和文抄録 400 字、英文抄録 200 words をつけている（原著・報告）。
- ☐ 9. 英文抄録は **native check** を受けている。
- ☐ 10. 投稿原稿表紙には必要事項（希望する原稿の種類、表題、キーワード、著者名、所属機関、連絡者氏名、連絡先）を記載している。
- ☐ 11. 副原稿は氏名・所属・倫理委員会名称と承認番号・謝辞など著者を特定できるような事項を取り外してある。
- ☐ 12. 共著者全員から、本ジャーナルに投稿する旨の承諾を得ている。（最終原稿提出時に著作権譲渡同意書の添付）
- ☐ 13. 利益相反の有無を記載している。利益相反状態が存在しない場合には、「本研究における利益相反は存在しない」と記載している。（投稿時、健康科学ジャーナル利益相反（COI）報告書を添付）

以上

チェック年月日： 年 月 日

著者氏名： _____